

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人常成福祉会
総合福祉施設 丹沢自律生活センター

障害者支援施設「丹沢レジデンシャルホーム」
生活介護事業所「花鳥デイサービスセンター」
多機能型事業所「秦野ワークセンター」
居宅介護事業所「花鳥地域生活支援センター」
日中一時支援事業所「ときの家」
生活介護事業所「あじさい」
秦野市児童発達支援事業所「たんぽぽ教室」
相談支援事業所「丹沢自律生活センター総合相談室」
【参考】 令和 6 年度事業報告書附属明細書（抄）

第1 社会福祉法人常成福祉会

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 第5次施設整備計画の推進については、次のとおり実施した。

・土地(戸川26番1、26番5)の共有者全員持分全部移転登記完了	令和6年4月12日
・設計・工事管理業務委託契約の締結((有)田企画設計事務所)	令和6年5月1日
・障害者多機能型拠点施設新築工事及び新築に係る開発工事の入札実施	令和6年9月6日
・障害者多機能型拠点施設新築にかかる開発工事請負契約の締結 (株)関野建設	令和6年9月18日
・都市計画法による土地の開発行為許可(戸川26番1、2, 972.20㎡)	令和6年9月20日
・新築工事地鎮祭	令和6年9月24日
・障害者多機能型拠点施設新築工事請負契約の締結(株)関野建設	令和6年11月8日
・令和6年度障害福祉施設等施設整備費補助金決定 (国庫、神奈川県)	令和6年12月19日
・令和6年度秦野市障害者支援施設等整備費補助金決定	令和7年1月6日
・WAM金銭消費貸借契約締結(建物)	令和7年1月30日
・開発行為に関する工事の検査済証の受理	令和7年4月8日
・建築基準法による建築物にかかる検査済証の受理	令和7年4月9日
・建築工事竣工・引渡	令和7年4月12日
・神奈川県完成検査	令和7年4月17日
・みなせ内覧会	令和7年4月28日
・みなせ地域披露式典	令和7年4月29日
・みなせ相談支援センター、あじさい、さんやヘルパーステーション、なのはな移転	令和7年5月1日

(2) 将来を見据えた基盤整備については、第5次施設整備計画に基づき市内に点在する事業所を集約する新しい拠点を丹沢自律生活センターみなせ拠点とし、ぼだい拠点との2拠点で組織を再編した。

2. 理事会・監事会及び評議員会の開催状況

・理事会；第1回(事業報告及び決算の承認、監事監査の結果他)	令和6年5月25日
第2回(補正予算の承認・新築及び開発工事の入札他)	令和6年8月8日
第3回(あじさい就労継続支援B型の新規指定他)	令和6年11月16日
第4回(厨房機器の整備)	令和7年2月16日
第5回(事業計画及び予算の承認、幹部職員の任命他)	令和7年3月15日
・監事会；業務及び会計監事監査の結果の総括	令和6年5月23日
・評議員会；定時(決算及び財産目録の承認、補正予算の承認他)	令和6年6月12日
臨時(補正予算の承認)	令和6年9月2日
臨時(補正予算、事業計画及び予算の承認)	令和7年3月26日

3. 職員雇用の状況 職員総数111人（常勤58人、臨任53人） ＊令和7年3月31日現在
- ・入職者数；常勤6人（自律1人、日中1人、療育1（雇用変更）、保健1、栄養2）
臨任7人（就労2、療育5（うち嘱託4人（作業療法士1人・臨床心理士3人）
 - ・退職者数；常勤5人（療育1人、日中1人、保健1人、栄養2人）
臨任10人（地域1人、就労2人、療育6人（うち嘱託4人（作業療法士1人・臨床心理士3人）
栄養1人）

4. 社会貢献の状況

- ・秦野市社会福祉協議会地域公益事業への参加
- ・神奈川県共同募金会自動販売機（ライツはだの）
- ・日本財団自動販売機（丹沢自律生活センター）
- ・菩提地区買物支援への車両貸出（28回）

5. その他

- ・法人登記（令和6年6月14日）；資産の総額
- ・物価高騰対応支援金の受領；神奈川県508,000円（上半期）、1,528,000円（下半期）

第2 障害者支援施設：丹沢レジデンシャルホーム

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 居住者の意思決定支援に係る質の向上

神奈川県の意味決定支援事業（令和4年度及び5年度）を活用し培った個別支援に係る経験を定着させられるよう取り組んできた。今年度地域生活への移行者1名、意思決定支援会議の結果に基づき施設入所と移動支援の併用を実現した居住者が1名、地域の通所生活介護事業所を利用する方複数名への支援を進めた。また施設職員以外の支援者が提供するサービスを利用しての日中活動や外出が増えた。また福祉サービス第三者評価を受審し、意思決定支援を含めた当施設での実践の振り返りを上半期に実施した。

(2) 災害対策の強化

防火管理委員会と協働し、災害対策備品の見直しや、特に大雨に伴う土砂災害発生のリスクが高い時の周辺状況の確認の徹底に関するOJTを強化している。居住者への災害対策の周知に向けた事業所単独の訓練(説明会)を1回実施した。

2. 居住者の状況

※括弧内はミドル入所利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
初日在籍数	44	41	42	41	41	40	41	42	42	40	39	40		
入所者数	0(1)	0(1)	1	0	1	1	0(1)	0	0	0	0(1)	0	3(4)	2(3)
退所者数	1(2)	0	2	1	0(1)	0	0	0	1(1)	0(1)	0	1	6(5)	5(2)
月末在籍数	42	42	42	40	41	41	42	42	40	39	40	40		

(居住者の異動状況)

※ 4月入所（1人） 秦野ワークセンター利用者のミドル利用1人

退所（3人） 療養病床への移行1人、ミドル利用終了2人

※ 5月入所（1人） 花鳥デイサービスセンター利用者のミドル利用

※ 6月入所（1人） 在宅からの入所

退所（2人） 病院での死亡2人

※ 7月退所（1人） グループホームへ移行

※ 8月入所（1人） 在宅からの入所（入院先の病院より）

退所（1人） ミドル利用終了

※ 9月入所（1人） 七沢自立支援ホームからの入所

※ 10月入所（1人） 在宅からのミドル入所（虐待による緊急）

※ 12月退所（2人） 療養目的での入院継続1人、ミドル利用終了1人

※ 1月退所（1人） 七沢自立支援ホームへの移行

※ 2月入所（1人） 七沢自立支援ホームからの入所

※ 3月退所（1人） 療養病床への移行

3. 短期入所事業利用者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
入所者数	6	7	8	8	8	7	10	7	7	5	3	4	80	58
利用日数	24	26	44	34	32	32	25	25	22	20	13	19	316	224

4. 活動の状況

(1)外出関係	回数	参加人数（延べ）
行事	2回	3人
移送サービス	30回	51人
わくわく散歩にLet's go	0回	0人

(2)クラブ活動	回数	参加人数 (延べ)
音楽	9回	67人
華道	5回	28人
卓上	5回	20人
スポーツ (ボッチャ)	6回	121人
スポーツ (ボーリング・バレー)	3回	52人
スポーツ (ボーリング)	2回	41人

5. 保健医療関係

定期健康診断について、居住者は6月に38人、2～3月に40人（常成福祉診療所）、職員は5月に66人、11月に44人を実施している。居住者の高齢化や障害の重度化により、健康面の観察を要する方の増加が顕著であることから、保健医療担当と自律生活支援担当、栄養管理担当の連携を強化し、対応している。

新型コロナウイルス感染症を含めた対策は、衛生委員会における情報や検討事項をもとに周知、共有しながら対応している。

6. 栄養管理関係

栄養ケアマネジメントについて、管理栄養士、生活員及び看護師等との連携のもと、居住者の健康管理に努めた。職員個々のさらなる衛生管理に対する意識を向上させる為、保健福祉事務所等からの情報をもとに会議等で留意事項や改善点の確認を行い、業務を遂行できるように努めた。また、食事の提供や食事環境については、食事サービス委員会にて情報の共有を行い、食事提供に係るサービス提供の質の向上に努めている。

第3 生活介護事業所：花鳥デイサービスセンター

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 生活力向上と意思決定を意識したサービス提供

利用者からの希望や要望には、個別支援計画を通じて、思いへの整理をおこない相互に確認し合うことで、生活力が向上していけるようサービス提供に努めた。更に利用者それぞれが意思決定しやすい環境を作るため、まずは身近な活動場面や活動内容に沿って、利用者からの発言が積極的なものになるよう声かけをおこなった。また、障害特性についての研修等を実施し、多種多様な利用者への関わり合いを適切に持てるよう努めた。

(2) 個人の尊重と心地よい集団の場の構築

個々の利用者が自身の生活や活動に積極的に取り組んでいけるよう、考えや思いを確認しながら支援の提供をすすめた。この経験が自信となり自己肯定感につなげられるよう日々の声掛けを大切にした。また、事業所は集団の場であることから利用者同士が関わり合えるよう配慮し、楽しむ経験ができるよう努めた。利用者会議の場では、各利用者が少しでも発言しやすくなるよう職員がサポートをおこない、自分の思いを表現でき参加意欲が高まるよう努めた。

2. 利用者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日数	21	21	20	22	18	19	22	20	20	19	18	20	240	240
登録者数	22	20	20	20	19	20	20	19	20	21	21	22	244	285
予定者数	232	209	199	221	183	179	210	189	189	197	190	220	2418	2965
利用者数	181	155	150	164	121	134	149	139	138	152	138	163	1783	2072
利用率(%)	78.0	74.2	75.4	74.2	66.1	74.9	71.0	73.5	73.5	77.2	72.6	74.1	73.7	69.9

(利用者の異動状況)

- ※5月 契約解除（1人）体調不良により入院
- ※5月 契約解除（1人）ミドル入所（5月31日～8月31日）
- ※8月 契約解除（1人）施設入所のため
- ※9月 利用契約（1人）ミドル入所退所に伴う再契約
- ※11月 契約解除（2人）長期の入院後（入院期間4月～10月）入所
〃（入院期間7月～10月）入所
- ※11月 利用契約（1人）グループホームより依頼
- ※12月 利用契約（1人）サービス変更（日中一時事業から生活介護事業に変更）
- ※1月 利用契約（1人）退院後の在宅支援のため相談事業所より依頼
- ※3月 利用契約（1人）グループホームより依頼
- ※長期の入院者：8月～3月（1人）、2月（1名）

3. 活動の状況

- ・お花見（4月）・合同レク：お好み焼き作り（5月）・七夕会、ピースキャンドル作り（7月）
- ・お散歩：夏イベント（8月）・グループ外出（11月）・戸川公園チューリップ植付け（11月）
- ・クリスマス会（12月）・施設外散歩：市内公園等（随時）

4. その他

- ・秦野市社会福祉協議会主催の福祉体験プログラム参加（7～2月 5回：利用者6人・職員9人）
- ・〃 中学生ボランティア体験学習受入（7月 1回：生徒4人・先生2人）
- ・秦野市本町小学校（3年生）ボッチャ交流会（8月 1回：利用者3人・職員2人）
- ・秦野市南町小学校（3年生）ボッチャ交流会（11月 1回：利用者3人・職員2人）

第4 多機能型（生活介護・就労継続支援B型）事業所：秦野ワークセンター

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 明るく、調和を保てる作業環境を提供

毎月の作業会議で利用者と職員が話し合い、それぞれの課題や進捗状況を確認した。スタッフ会議においても利用者の環境設定や作業効率等について話し合い、働きやすくなるよう検討をすすめた。作業内容では無理のない範囲で受注をおこない、利用者の大きな負担とならないよう調整をおこなった。工賃支給額については、昨年度と同等の額の支給となった。

(2) 安心なサービス提供を目指し、緊急時・災害時に備える

防災訓練で避難訓練を行い、出火場所を変えながらスムーズな避難ができるか動線の確認をおこなった。また、秦野市消防の立ち入り検査を受け、廊下の動線確保や電気窯周辺の整理を行い、安全な環境設定をおこなった。

その他、各作業場の整理整頓や清掃、清掃しやすい環境を整えた。

2. 利用者の状況

※上段：生活介護 下段：就労継続支援B型

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日数	21	21	20	22	18	19	22	20	20	19	18	20	240	240
	21	21	20	22	18	19	22	20	20	19	18	20	240	240
登録者数	13	13	13	13	14	14	14	14	13	13	13	13	160	155
	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	137	144
予定者数	222	226	210	227	194	201	236	217	200	186	177	195	2491	2551
	197	196	188	207	167	169	194	178	176	166	158	178	2174	2354
利用者数	181	196	175	187	145	148	181	167	165	150	143	142	1980	2092
	181	175	170	195	151	153	181	161	159	150	143	160	1979	1934
利用率(%)	81.5	86.7	83.3	82.4	74.7	73.6	76.7	77.0	82.5	80.6	80.8	72.8	79.5	82.0
	91.9	89.3	90.4	94.2	90.4	90.5	93.3	90.4	90.3	90.4	90.5	89.9	91.0	82.1

(利用者の異動状況)

※8月 利用契約（1人）相談事業所より依頼

※8月 契約解除（1人）就労移行支援事業所へ異動

※11月 契約解除（1人）体調不良のため

3. 活動の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
出店回数	4	1	1	2	0	1	6	2	0	0	1	2	20	23

主な出店先：セブンイレブン（西大竹店、尾尻店、幸町店）・ゆめ散歩・弘法の里湯・ま木銀八鮓・五十嵐商店・山谷サロン・秦野斎場

4. その他

- ・さかえちよう公園七夕飾りに参加（7月4日）
- ・共同募金街頭募金（渋沢駅）（10月）
- ・さかえちよう公園イルミネーションフェスティバル飾りつけ（12月）
- ・能登半島地震災害義援金を市社協に寄付

第5 居宅介護事業所：花鳥地域生活支援センター

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 利用者・家族の思いに寄り添った柔軟なサービス提供

本人や家族の不安解消、介護負担の軽減に繋がるよう、サービス提供時に本人、家族の言葉に耳を傾けることを意識し、必要に応じて関係機関との連携を図った。また、希望や要望があった際は出来る限り応じられる様に配慮した。

(2) 人材確保に努め安定した支援を提供する

ヘルパーの介助技術向上と多種多様な利用者ニーズに対応することを目的にヘルパーの同行訪問をおこなった。その結果、急な予定変更やヘルパーの休みの際など臨機応変に対応することができた。また、複数のヘルパーが支援に関わったことにより、多くの意見や思いを共有し合ったことで、新たな視点を持って職務にあたる良い機会となった。一方で、誰が来るか分からないことへの不安も聞かれた為、今後の課題としたい。

2. 利用者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
身体介護 登録者数	12	13	12	12	12	12	12	12	12	13	14	14	150	167
利用者数	307	268	222	243	212	218	231	227	219	235	249	275	2,906	3,530
家事支援 登録者数	7	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	98	80
利用者数	95	102	98	121	106	91	108	110	102	100	97	111	1,241	1,112
移動支援 登録者数	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	29	48
利用者数	2	2	2	3	0	1	1	1	3	1	0	2	18	54

(利用者の異動状況)

※身体介護：5月 利用契約（1人）家族負担軽減のため相談事業所より依頼

6月 契約解除（1人）丹沢レジデンシャルホーム入所

1月 利用契約（1人）退院後の在宅支援のため相談事業所より依頼

2月 利用契約（1人）家族負担軽減のため相談事業所より依頼

※家事支援：5月 利用契約（1人）家族負担軽減のため相談事業所より依頼

1月 利用契約（1人）退院後の在宅支援のため相談事業所より依頼

※移動支援：6月 契約解除（1人）丹沢レジデンシャルホーム入所

1月 利用契約（1人）外出機会増大のため丹沢レジデンシャルホームより依頼

3. 活動の状況

- ・厚木市地域生活支援事業者登録（移動支援）を実施。

第6 日中一時支援事業所：ときの家

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 利用者児の特性や成長に沿った支援に努める

支援学校小学部から中学部に移行する時期と思春期が重なることで不安定となる利用者児に対して、こまめに学校と情報を共有した。また、利用毎に対応を検討、実践、評価を繰り返すことで、変化する利用者児の状況に対応できるよう努めた。

急な休校時や家庭の事情に応じて、受入時間の変更や送迎など、日々の状況に合わせた対応に努めた。

今後も、利用者児の成長にそって柔軟に対応出来るように努める。

(2) 関係機関との連携強化

学校、相談支援事業所や関係事業所と連携を図り、情報共有や利用者児の状況整理をおこなってきた。その中から挙がってきた課題や本人の困り感についてもスタッフで検討して意見交換をおこないながら支援に繋げた。進級などに伴い心身状態の変化が見られた際も関係機関から情報収集をおこない、それらをもとに事業所で検討をして支援時の留意点として反映した対応を実施した。

利用の様子は、家族の迎え時にお伝えしているが、出来ない方へは連絡ノートに様子を出来るだけ詳しく記載するように努めた。

2. 利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
成人														
登録者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
児童														
登録児数	10	10	10	10	11	11	12	12	13	13	13	13	138	116
利用児数	45	52	36	48	35	42	45	49	36	42	41	46	517	606
送迎利用数	33	36	26	34	4	24	24	27	20	22	26	18	283	400

(利用者の異動状況)

※8月 利用契約(1人)就学前の体験のため家族より依頼

※10月 利用契約(1人)就学前の体験のため家族より依頼

※12月 利用契約(1人)就学前の体験のため家族より依頼

3. 活動状況

・北地区周辺の散歩(古墳公園、菩提茶畑方面、白泉寺方面等)随時実施。

4. その他

・戸川西桜まつりへの職員派遣(1人)

第7 生活介護事業所：あじさい

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 医療的ケアが必要な方への体制整備

かながわ医療的ケア児支援センターとの連携を図り、積極的に連絡会や研修に参加した。同時に受け入れも強化し、令和6年度中に医療的ケア児4人の新規受け入れを実施。さらに次年度から3名の利用希望を受けている状況。

(2) 体験の場の提供

車で遠出をするような、非日常的なレクリエーションとしての外出の比率が高くなっていたため、近所を徒歩で散歩をするような日常的活動に比重を戻せるよう意識した。積極的に外出し、楽しみのある活動を行いつつ、個別支援に沿った活動の提供を意識してできるよう取り組んだ。

2. 利用者の状況

生活介護事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日数	21	21	20	22	18	16	22	20	20	19	18	20	239	240
登録者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141	130
予定者数	183	179	176	193	159	149	192	174	170	155	145	161	2036	1870
利用者数	161	146	135	166	129	104	166	152	137	140	121	136	1693	1558
利用率(%)	87.9	81.5	76.7	86.0	81.1	69.8	86.4	87.3	80.5	90.3	83.4	84.4	82.9	83.3

(利用者の異動状況)

※12月 契約解除(1人) 入院後に急変し死亡

日中一時支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用児数	0	0	0	3	7	9	7	8	11	10	8	17	80	80

3. 活動の状況

- ・散歩：47回 延べ127人
- ・車両外出：57回 延べ145人
- ・理学療法：延べ25人

4. その他

- ・令和6年度報酬改定への対応。(契約書類や個別支援計画等の内容変更)
- ・日中一時支援事業についても要綱改訂があったため対応。
- ・利用者4人、職員2人が同時にコロナ陽性となり3日間営業を休止。(9/2～9/4)
- ・強度行動障害支援者養成研修(基礎) 1人受講。

第8 児童発達支援事業所：秦野市児童発達支援事業たんぽぽ教室【秦野市委託事業】

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 早期療育の場の構築

事業所の運営目的や役割を全職員で認識し合い、利用児（保護者を含む）個々の状況に沿って柔軟な運営に努めた。また、市内の関係機関とも積極的に連携し、利用児の生活環境全般への支援にも意識したサービス提供に努めた。

職員育成については、事業特性に応じた研修・施設見学（18 研修・13 か所）を実施した。また、実践場面では、経験年数に応じて、役割分担や業務内容を引き続き見直しクラス開催した。

(2) 保護者支援の充実

児童を日々養育する保護者を支えることができるよう、クラス開催場面を通じて個々の相談に応じた。相談内容によっては、各種関係機関と連携を図る必要性も高く、子育てする保護者支援に取り組み、子どもの健やかな成長につながるようサービス提供に努めた。また、令和4年度から児童精神科医師相談の対象者を2・3歳から全利用者に変更し、それぞれの保護者が抱える不安や発達への理解につなげることができるようサービス提供の幅を広げた。

令和6年度は、保護者の思いをくみ取ることができるよう心理士の勉強会を踏まえて職員主体で懇談会を実施し、保護者同士が互いの思いを話せる場を設け、精神的な負担の軽減につながるよう支援に取り組んだ。5歳児クラスでは、ペアレントトレーニング保護者向け研修（かながわA協力）を開催した。また、近年増加している児童虐待等になる前兆にも視点を置き予防的サービス提供に努め、関係機関との連携を図った。

(3) 各種法令に沿ったサービスの提供

各種関係法令等を遵守しながら、委託先である秦野市との情報共有を図り、利用児や保護者に対して適切な療育、支援が提供できるよう努めた。

2. 利用者の状況

クラス	うさぎ 2歳児		ぞう 3歳児		ばんび 肢体児		いるか 4歳児		くじら 5歳児		登録児数計		前年度	
男女別契約児数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	12	1	5	1	0	2	6	2	9	5	32	11	34	18
計	13		6		2		8		14		43		52	
契約解除児数	1		1		0		0		1		3		1	

(利用児の解除状況)

※ 転居、保育園への移行、通所事業所利用

3. 活動の状況

- ・ 2歳児、3歳児クラス：進路・事業所説明会（6月）
- ・ 2歳児クラス：ことばの勉強会（11月）、心理勉強会（12月）
- ・ 3歳児クラス：卒園児保護者との集い（6月）、OG 講話会（7月）、心理勉強会（7・9・1月）
- ・ 4歳児クラス：心理勉強会（10月）
- ・ 5歳児クラス：就学説明会、ペアレントトレーニング研修会（6月）心理勉強会（2月）
- ・ 4歳児、5歳児クラス：幼稚園、保育園担任対象情報共有会（7月）
- ・ 全クラス：保護者との懇談会（5・6月）・全クラス：児童精神科医師相談日（7～12月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
地域定着支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時支援費Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時支援費Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

目標達成率 ・地域移行支援 0件 0/1（実績÷目標件数）＝0%達成

・地域定着支援 0件 0/1（実績÷目標件数）＝0%達成

② 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク形成事業（圏域ナビ）【神奈川県委託事業】

湘南西部圏域自立支援協議会	2回	秦野市障害者支援懇話会相談部門	5回
運営会議、ナビ会議	10回	秦野市相談支援事業所等連絡会	3回
圏域相談支援NW会議	2回	秦野市にも包括に関する協議の場	2回
圏域重心・医療的ケア児者支援NW会議	2回	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	3回
湘南西部圏域障害者差別解消支援地域協議会	2回	伊勢原市企画運営会議	2回
湘南西部圏域あんしんネット協議会	3回	伊勢原市相談・地域支援部会	1回
かながわ湘南西障福ナビだより	6回	二宮町・大磯町障害者自立支援協議会	2回
平塚市障がい者自立支援協議会	2回	二宮町・大磯町協議会部会	3回
平塚市企画運営部会	4回	平塚保健福祉事務所 にも包括関連会議	12回
平塚市計画相談支援連絡会	3回	平塚保健福祉事務所秦野センターにも包括関連会議	11回
平塚市精神分科会	3回	障害児等移行促進事業マッチング会議	2回

湘南西部圏域相談支援体制充実強化事業として、相談支援従事者初任者研修のインターバル実習に対応する圏域内市町の委託相談支援事業所の相談支援専門員を対象に、インターバル実習担当者研修会を開催した。にも包括構築推進アドバイザーを受託し、保健所毎に毎月会議に参加した。

③ かながわ医療的ケア児支援センター事業【神奈川県委託事業】

圏域ランチ主任コーディネーター会議	12回	県センター相談受付対応（毎週/月・水・金）	151日
政令市合同開催主任コーディネーター会議	2回	市町医療的ケア児部会・母子保健委員会・他	20回
運営会議・養成研修検討会・養成研修対応	18回	情報交換・会議・研修（県・圏域・市町含む）	21回

④ 秦野市医療的ケア児等コーディネーター事業【秦野市委託事業】

相談件数（新規・継続）※実人数	19件	こども部門医療的ケア児支援者情報連絡会	3回
コーディネーター連絡会・連絡会打合せ	12回	ケース会議（個別支援・医療機関・地域支援）	46回
訪問・同行・面談	106回	電話・メール・連絡調整	2511回

⑤ 神奈川県地域生活移行推進民間提案事業【神奈川県補助金事業】

・湘南西部圏域グループホーム連絡会 事務局会議の開催 2回（出席者25名）

・各市町協働でのグループホームの質の向上に向けた研修会等の開催

事例検討会	5回	実践報告会	2回	虐待防止・権利擁護研修	1回
-------	----	-------	----	-------------	----

・障害者支援施設、精神科病院の地域生活移行におけるニーズ調査

湘南西部圏域障害者支援施設地域生活移行促進懇話会の開催（スペシャリスト連絡会と合同）
精神科病院によるニーズ調査の活用

・各市町グループホーム連絡会等、関連会議・研修への参加

各市町グループホーム連絡会等	6回	圏域内関係会議	10回
----------------	----	---------	-----

⑥ 地域支援事業

・IT講習会 2回開催 ボランティア のべ4名、当事者 のべ3名参加

・障害支援区分認定調査 25件

【参考】 令和6年度事業報告書附属明細書（抄）

第1 法人関係

1. 権利保障委員会の実施

部 会 の 名 称	実施状況	記録	主 な 内 容
権利保障委員会	1 回	有	各部会の運営及び課題整理に係る事項
苦情解決部会	1 回	有	苦情システムの進行管理及び運用（苦情受付担当者会議を含む）
サービスシステム部会	1 回	有	ライブサポート・リスクマネジメント・サービスの進行管理及び運用
サービス評価部会	1 回	有	自己評価・利用者評価・第三者評価・実習生評価の企画、進行管理及び運用
虐待防止部会	2 回	有	虐待防止研修及び関係規程の再整備に関する協議・意見交換

2. 専門委員の活動状況

分 野	実施回数(回)	活動状況
弁護士	3	事前予約により対応した
公認会計士	1 1	財務資料の確認等

3. 苦情解決部会の状況

(1) 部会等の開催状況

①委員会 1 回 (Web) ②第三者小委員会 0 回

(2) 第三者委員の対応状況

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	計	前年度
来所延人数	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	6	9
対応人数	3	1	0	3	0	0	3	0	2	9	0	0	2 1	2 3

(3) Kフレんズの来所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
来所延人数	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	10	9
対応人数	1	2	3	3	3	4	0	4	3	3	0	2	28	19

(4) 苦情相談受付・対応の状況

内容	来談者	概 要	処理区分
苦情	本人	① 主訴： 職員の対応が怖いので改めて欲しい。 ② 再発防止に向けて： 利用者と職員の関係性、介助をうける場面等から利用者に残る印象は大きく変わる。個々の状況を把握し、利用者が安心できる関りを組織として実践するように申し送る。	要指導
苦情	本人	① 主訴 担当者2名を変更して欲しい ② 再発防止に向けて： 新規利用者の支援において、利用者本人の思いをしつかりと受け止めること、人（職員や他利用者）や環境等に対する緊張や不安への配慮を行いながら信頼関係を構築することを指導する。その過程で利用者本人とともにもニーズを整理し、支援に反映させていくことを会議や申し送りにて共有する。	要指導
苦情	本人	① 職員の言葉遣いを改めて欲しい ② 再発防止に向けて： 利用者への介助場面や生活支援場面において、利用者本人にとつて理解しやすい説明を行うこと、利用者の実感として不安や不満に繋がらないよう考慮したアプローチを行うことを指導する。組織においては、日々の接遇が利用者との信頼関係の基礎にあることを含めて職員自身の言動を振り返るように申し送る。	要指導

4. サービス評価部会の状況

今年は、丹沢レジデンシャルホームが神奈川県社会福祉協議会の利用者意向調査による評価を受けました。他事業所は昨年度と同様の評価票を使用して実施。たんぽぽ教室については、提供しているサービス内容に沿って一部設問を変更した上で、国が定めた「児童発達支援ガイドライン」に基づく評価票を使用し、実施しました。公表に用いる様式も同ガイドラインに示されたものを使用し実施しています。

(1) 自己評価

調査期間：令和6年10月7日～10月25日

調査対象事業所名：花鳥デザインサービスセンター (生活介護事業所) 6人
：秦野ワークセンター (多機能型事業所) 11人
：あじさい (生活介護・日中一時支援事業所) 8人

：花鳥地域生活支援センター	(居宅介護事業所)	16人
：ときの家	(日中一時支援事業所)	3人
：たんぽぽ教室	(児童発達支援事業)	10人

(2) 利用着評價

調査期間：令和6年10月7日～10月25日

調査対象事業所名	： 花鳥デザインサービスセンター	(生活介護事業所)	14 人
	： 秦野ワークセンター	(多機能型事業所)	25 人
	： あじさい	(生活介護事業所)	12 人
	： 花鳥地域生活支援センター	(居宅介護事業所)	16 人
	： とぎの家	(日中一時支援事業所)	10 人
	： たんぽぽ教室	(児童発達支援事業)	34 人

(3) 外部機関による利用者評価

調査期間：令和6年6月20日～令和6年7月20日

調査対象事業者名：丹沢レジデンスシャルホーム 職員27名・居住者41名

「福祉」を「福」として用いる者意調詞「榎」

(4) 第三卷 証言者

調査日：令和7年1月10日

(5) 實生證值

調査期間：令和6年8月～令和6年12月 計2人

調査対象事業所名：丹沢レジデンスセンター 花鳥デザインホーム 丹沢ワークセンター 丹沢自律生活センター 総合相談室

5. サービシステム部会

(1) リスクマネジメント報告書様式1の状況

[illegible]

7. 実践教育委員会

(1) 施設職員の研修状況

①〇JT (職員個別指導等)

実施者・対象	延人数	実 施 内 容
自律生活支援担当	31	新任職員育成、チューター指導、対人援助
地域生活支援担当	87	個別指導、業務習得
就労支援担当	6	運転講習、食堂業務、作業部門指導
居宅介護担当	12	新採用育成、業務習得、感染症
余暇支援担当	7	個別指導、利用者への対応
療育支援担当	39	保護者支援、事業運営と職務について、子どもの対応について
相談支援担当	74	利用者支援、意思決定支援、アセスメント
栄養管理担当	1	新採用育成

②OFF-JT

研修名	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種	実施回数	参加延人員
必須研修 1	障害者虐待防止研修	部長・所長・室長・マネージャー	各担当職員	27	91
必須研修 2	ハラスメント防止研修	部長・所長・室長・マネージャー	各担当職員	8	65
必須研修 3	非常災害・感染症業務継続計画研修	部長・所長・室長・マネージャー	各担当職員	7	56
必須研修 4	感染症及び食中毒のまん延防止研修	部長・所長・室長・マネージャー	各担当職員	7	64
新任研修	新採用職員研修	部長・マネージャー	生活員・調理員	15	23
部署別研修	意思決定支援研修・心理勉強会 他	部長・室長・所長・マネージャー	職員	36	170
その他の研修	施設・事業所見学 他		職員	10	34
計					503

③OFF-JT (事業所・部署内)

部署名	研 修 名	研 修 内 容	講 師 (進 行)	参 加 職 種	実施回数	参加延人員
自律生活支援担当	必須研修 1 新任研修 部署別研修 必須研修 2 必須研修 3 必須研修 4	令和6年度障害者虐待防止研修令 新任職員研修 接遇研修(ベジドメイク他) 知的障害のある方への生活支援研修 令和6年度ハラスメント防止研修 非常災害・感染症業務継続計画研修 感染症及び食中毒のまん延防止研修	施設長・マネージャー マネージャー マネージャー 動画視聴 マネージャー マネージャー マネージャー	全職員 全採用職員 全職員 全職員 全職員 全職員 全職員	16 2 5 8 2 2 2	33 5 26 16 30 30 31

9. 防災関係

(1) 地域防災組織等の連携状況

【社会福祉法人常成福祉会】 (内容)	平成4年4月1日に地元自治会と「防災相互援助協定書」を締結した。(平成23年度より地元自治会連合会とする。)この協定による災害時の援助内容は、次のとおりとする。 施設側 施設設備の提供 (被災時の生活の場としての施設利用) 防災用品の貸与 災害援助物資の提供 その他自治会の要請による可能な限りの人的、物的支援 自治会側 火災時の初期消火活動への協力 災害時の避難・救援活動への協力 その他施設の要請による可能な限りの人的、物的支援 (経費) なし
	【とぎの家】 (内容)
	平成24年4月に戸川西自治会と「災害時要援護者の一時待避場所」にかかる覚書を交わした。 (経費) なし

(3) その他

- ① 会議等開催状況
地域連絡調整会議は11回開催し、「防災相互援助協定書」の締結及び地域の情報交換を実施した。
② 地域障害者地域生活サポート事業補助金の地域防災拠点事業にて、ポータブル電源、無線パッチリー、N95マスク及び備蓄食糧等を購入。
③ 秦野市福祉避難所として契約継続。
④ 秦野市福祉避難所と合わせて昼食として提供し、調理訓練とした。
⑤ 備蓄食糧は、消費期限が試験の実施(消防法に基づく) 1回
⑥ 自治会対象物点検報告特例認定更新手続

(2) 各種防災訓練の実施状況

	実施回数	参加人数	消防署への事前通報	消防署の立会	記録
総合防災訓練 (大規模地震特別措置法に基づく)	2	79	有	無	有
火災総合訓練(※1)	5	172	有	無	有
夜間想定(通所は日中対応) 日中想定 部分訓練 消防設備・屋内消火栓取扱訓練 通報訓練 119番・火災通報装置 土砂災害訓練(机上) 避難確保計画(机上) 避難準備品・機材の取扱い 防災い 夜間停電時対応	6	50	有	無	有

※1 消火・通報・避難等の総合訓練。